



黒潮町Aチーム 栄えある準優勝おめでとうございます!!

室戸-安芸間(8区間46.5キロメートル)をコースに行われる高知県市町村対抗駅伝競争に、町内で選抜された社会人、中学生、高校生で編成した駅伝チームが毎年出場し、活躍を見せてくれています。

今年1月31日に開催された第58回大会では、県内から39チームが参加の中、黒潮町Aチームがベテランの社会人メンバーの頼もしい走りに、中学生・高校生メンバーの力強い好走の末、総合2位(準優勝)という素晴らしい結果を勝ち取りました。

レースは1区・森田真伍くんの見事な区間賞(1位)の走りですスタートし、続く2区・泉千尋くんも踏ん張りトップでタスキを3区(中学生区間)に繋ぎました。山本海斗くん(大方中)は優勝した南国市に抜かれはしたものの、目標を大幅に上まあるがんばりを見せ、前半のアンカー・4区・田中智也くんも粘って27秒差の2位を死守しました。

後半スタートの5区・田辺有彦くんは各チームのエースが競うこの区間で最後までトップ争いをつづけ、惜しくも6秒差の2位で6区(中学生区間)に繋ぎ、宮地真宏くん(大方中)も南国市に抜かれましたが、がんばりを見せて、3位で7区に…。タスキを受けた宮地敏行くんが1人を抜いて8区・宮脇智也くんに夢を託しました。アンカーの宮脇くんも見事な区間賞(1位)の走りで18秒差を一機に逆転しトップに立ちましたが、残念ながら前半の遅れを取り戻すほど引き離すことはできませんでした。しかし、全員が目標以上の走りを見せて優勝争いをした結果での準優勝であり、「黒潮町」として誇りうる結果を持ち帰ってきてくれました。

また、黒潮町Bチームも29位と大健闘を果たしました。
 黒潮町駅伝チームのみなさん、おめでとうございます。
 そして、健闘おつかれさまでした!
 今後のみなさんの活躍にも大いに期待し応援しています!



黒潮町Aチーム記録

区	区間(距離)	氏名	タイム結果	順位
1	Hシレスト室戸～室戸市役所(7.4km)	森田 真伍	23分07秒	1位(区間賞)
2	室戸市役所～吉良川黒耳(6.7km)	泉 千尋	21分52秒	4位
3	吉良川黒耳～吉良川橋西詰(2.8km)	山本 海斗	9分05秒	9位
4	吉良川橋西詰～羽根橋西詰(4.6km)	田中 智也	15分09秒	3位
前半(21.5km)			1時間9分13秒	2位
5	羽根橋西詰～奈半利町下村(9.2km)	田辺 有彦	29分19秒	2位
6	奈半利町下村～レストラン岬東(2.8km)	宮地 真宏	9分33秒	15位
7	レストラン岬東～下山農業センター(5.6km)	宮地 敏行	18分16秒	2位
8	下山農業センター～安芸市役所前(7.4km)	宮脇 智也	23分19秒	1位(区間賞)
後半(25.0km)			1時間20分27秒	1位
総合(46.5km)			2時間29分40秒	2位

平成15年1月、大相撲初場所が終わって数日後、某市内の酒場にて高砂親方に遭遇。親方を取り巻くのは、後援会の方で近寄りたいたい雰囲気醸しだされていた。さらに、店の方から追い討ちと思える一言が「プライベートで来ちゆうき、サインとか求めると、すぐ怒る...」。サインの取得を目論む私は、釘を刺された思いで、諦めかけた瞬間「私のお父さん、お願い...」。渡りに船とはこのこと、サインとともに握手と言葉を交わすことまで実現し、舞い上がったことが思い出される。(親方の帰郷と朝青龍の優勝を祝した宴の様であったが朝青龍は不在?)それから7年の月日が流れ同じ季節に、今回はTVの向こう側に座る親方に出会い、日の出の勢いであつたであろう当時の親方の姿とともに方丈記の一文を思い出した。(ゆく川の流れば絶えずして...世の中にある人と栖とまたかくのごとし)いつまでも、同じ状況は続かないのだと感じるとともに、厳しい時代であっても時は流れ変化していくのだと希望を抱き続ける日々である。(5)

編集子

